

BE KOBE

今後の不登校支援のあり方に関する検討委員会（第3回）

1

今後の不登校支援のあり方に関する検討委員会

BE KOBE

本日の検討事項

▶ 不登校児童生徒への支援の充実

- ①神戸市立青少年育成センターの果たすべき役割
- ②現在、不登校支援を行っている「くすのき教室」における支援内容・支援体制等
- ③ICT等を活用した支援方策
- ④校内における不登校支援
- ⑤不登校特例校等を含む多様な教育機会の確保

2

神戸市立青少年育成センター

BE KOBE

- (1) 設立趣旨：青少年の補導活動を総合的に推進し、青少年の不良化を防止するとともにその健全な育成を図ることを目的として設置。（昭和36年1月10日設置）
- ※平成2年度、くすのき教室を設置。その後、不登校児童生徒数の増加に伴い7分室を開設し、現在に至っている。
- ※7か所の分室（東・北・北神・長田・北須磨・垂水・西）
- (2) 職員：所長1名，副所長1名，担当係長2名，指導主事1名，主任指導員28名，事務職員1名，技術職員2名 計36名
- (3) 業務内容
- ①青少年相談（令和3年度：9,304件） 前年度比22.1%増
- ②街頭補導
- 特別街頭補導（長期休業中及びその前後の夜間）
 - 普通街頭補導（指導員が担当区域を月5回以上）
- ③くすのき教室
- 不登校児童生徒に対して、学習支援や体験活動等を行う。
- ※令和3年度の年間入級児童生徒数：214名（前年度174名）

3

神戸市立青少年育成センター

BE KOBE

くすのき教室の取組

- (1) 開室・活動時間
- 毎学期、始業式～終業式（月曜日～金曜日）
 - 原則として9:00～15:00
（児童生徒の実態に応じて柔軟に対応）

- (2) 指導者
- 主任指導員・担当係長・指導主事 → 担任的役割
 - 専門指導員 → 教科担任的役割
 - 臨床心理士 → スクールカウンセラー・スーパーバイザー
 - すこやかフレンド → 大学生ボランティア

- (3) その他
- 通級した日について、校長は指導要録上、出席扱いとすることができる
 - 指導状況報告書を、学期毎に在籍校の校長へ報告する
 - 通学定期券乗車券制度が適用される
 - 個別保護者会（1，2学期末）、進路保護者会（高校も参加）、講演会（保護者対象）を行う

<通級生（小学生）の1日の流れ>

9:30- 9:55	予定確認と学習①
9:55-10:15	休憩（6Fで卓球等）
10:15-10:45	学習②
10:45-11:00	休憩（カードゲーム等）
11:00-11:30	学習③
11:30-	ふり返り

4

校内における不登校支援

BE KOBE

M中学校の取組例

	ここいる教室	梅っ子教室	放課後 学びの場
対象生徒	不登校生徒 支援が必要な生徒 現在：1年5人,2年7人,3年4人	不登校生徒 現在：1年2人,2年2人,3年4人	全校生徒
時間帯	3～4校時（毎日）	5～6校時（毎日）	15:30～16:40（毎日）
支援体制	特別支援コーディネーター 学年教員	教員が1名ずつ担当 不登校担当教員が支援	地域の大学生と高校生 ボランティア
取組	生徒の特性を見極めつつ支援して いく教室 ソーシャルスキルトレーニング・ アンガーマネジメントなどの 特性に応じたトレーニング 各教科の個別学習支援	登校しやすい時間に登校して学習 に取り組み、生活のリズムを整えて いく教室 担当教員の他、来室する教員による 学習支援	学習意欲の向上 自学自習・質問形式 大学生・高校生との地域連携

5

フリースクール等民間団体との連携

BE KOBE

フリースクール等民間団体と連携した出席取扱の状況

年度	件数
令和3年度	129件
令和2年度	120件
令和元年度	107件

フリースクール等民間
団体に通所した日数を
一定の要件のもと、
出席取扱した件数

自宅においてICT等を活用した学習活動を行った場合の出席取扱の状況

年度	件数（新規件数）
令和3年度	15件
令和2年度	6件
令和元年度	3件

ICT等を活用した学習
サービスや在籍校が提供
するオンライン授業に
参加した日数を一定の
要件のもと、出席取扱
した件数

6

今後の不登校支援のあり方に関する検討委員会

BE KOBE

報告事項

▶ 他都市の不登校関連施設を視察

① 教育支援センターの取組

- ・横浜市教育支援センター
- ・広島県教育支援センター

② 不登校特例校の取組

- ・香川県三豊市立高瀬中学校夜間学級

7

① 横浜市教育支援センターの取組

BE KOBE

1 基本方針

- (1) 安心できる居場所づくり ※段階に応じて、居場所となる場所ができるよう支援の実施や施設を設置
- (2) 個別最適な学習機会の提供

2 具体的な取組

- (1) 外出が困難な児童生徒
 - ① ハートフルフレンド家庭訪問（大学生を家庭へ派遣）※学習支援なし
 - ② アウトリーチ家庭訪問学習支援
 - ③ アットホームスタディ（オンライン学習アカウントを配布）
- (2) 外出はできるが学校へ入れない児童生徒
 - ① ハートフルスペース（市内4か所）※学習支援なし、専任教員・カウンセラーが巡回
- (3) 学校に登校できるが教室には入れない児童生徒
 - ① ハートフルルーム（市内小・中学校敷地内に設置）※学習支援あり、専任教員・カウンセラーが巡回
- (4) 民間施設等との連携
 - ① ハートフルみなみ事業（市教委が民間施設に事業委託）
 - ② 横浜子ども支援協議会
（民間施設16施設が参加、保護者の集い、座談会、ハートフルと合同行事等）

3 その他

- ・ オンラインコンテンツは自分の進度に応じて学習可能な内容
- ・ 増加する小学校への対応は検討中（特別支援教育関連部署との連携等）

8

①横浜市教育支援センターの取組

BE KOBE



会議風景



《横浜市役所》



会議風景



①横浜市教育支援センターの取組

BE KOBE

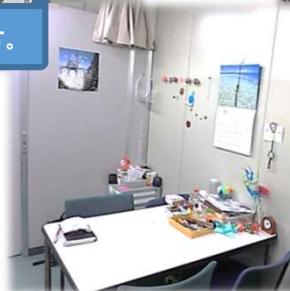
《ハートフルスペース上大岡》



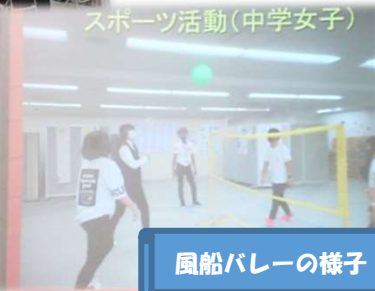
ビルの一室にあります。



広いスペースに、卓球台や バランスボールも完備。



個別面談室



スポーツ活動(中学女子)

風船バレーの様子

②広島県教育支援センターの取組

BE KOBE

1 基本方針

- (1) 全ての児童生徒に「主体的な学び」を実現することを目指す
- (2) 「個別最適な学び担当」を新設し、生徒指導担当部署から所管を変更
多様な「選択肢」と「自己決定」を意識した教育活動の推進

2 具体的な取組

- (1) SCHOOL'S" (スクールエス) ①入りやすい環境整備 ②オンライン機器整備 (スタジオS)
 - ・ 通所 (学習、体験活動等) とオンライン (テレビ会議ソフトで交流、学習指導等)
 - ・ アセスメントと個別サポート計画の作成
 - ・ デジタルツールを通じた学びプログラムの提供
- (2) SSR (スペシャルサポートルーム) ①入りやすい環境整備 ②専任教員1名配置 ③指導主事訪問
 - ・ 教室復帰を必ずしも目標としないが、社会的自立に向けた力の育成を目指す
 - ・ 児童生徒の状況に応じて個別学習と協働学習 (教え合い等) を行う
 - ・ デジタルツールを活用し、県内SSR等や外部機関、有識者との連携、オンライン部活動等
- (3) 個別最適な学び探究セミナーの実施 (年間5回)
様々な社会人を講師として招聘 (例) 自分の好きなことを買いて職業としている方など
- (4) フリースクール等民間団体との連携体制の構築
年1回、情報共有会を開催

3 その他

- ・ 情報発信の工夫 (イラスト・ラジオ・広報誌等)
- ・ 連携の工夫 (様々な方面とコラボして魅力的な学習コンテンツを開発)

11

②広島県教育支援センターの取組

BE KOBE

広島県教育支援センター SCHOOL "S" (スクールエス)



分かりやすい入口



休憩室


 オンライン用の
スタジオ


自分で名札をとります



学習室


 簡単なクイズの答えを
みんなで考えています

12

② 広島県教育支援センターの取組

BE KOBE

世羅町立甲山中学校 SSR



自分で決めた
時間割を掲示して
います



生徒の描いた
作品です。



アットホームな
雰囲気です



13

③ 香川県三豊市立高瀬中学校夜間学級の取組

BE KOBE

1 特色

- (1) 不登校学齢期生徒の受け入れも行う夜間中学校（不登校特例校指定：令和4年3月28日）
- (2) 多文化・異年齢集団での学習により、同調圧力によるストレスが軽減（登校しやすい）

2 経緯と取組

- (1) 設立経緯：夜間中学校設立に合わせ、不登校特例校設置を申請
- (2) 教育課程：1コマ40分、年間授業時数805時間（通常より圧縮）※学齢経過者は年間700時間
※学齢期生徒は0時間目を設け、時間数を調整（うち、70時間は個別学習の時間に割当て）
- (3) 職員数：管理職2名（昼間と兼任）、教職員13名（専任、常勤・非常勤等の別あり）
- (4) 学齢期生徒受入の流れ

① 事前相談

住所地教委へ相談 → 面談1（夜間のため、学齢期生徒は保護者送迎が必須） ※事務局・SSW
体験入級申込書 → 面談2（学習意欲等を確認） ※事務局・SC

② 体験入級（1か月以上）

随時面談（教諭等） → 面談3（通学・学習の様子等を踏まえ転入を決定） ※事務局・SC

③ 転入（区域外就学許可申請）

3 その他

- ・現在、3名が体験入学中。うち1名は転入の見込み。もう2名は体験入学を延長。
- ・今後、学齢期生徒が多数申込み、定員の大半を占めるようになった場合の対応については検討中。

14

③香川県三豊市立高瀬中学校夜間学級の取組

BE KOBE

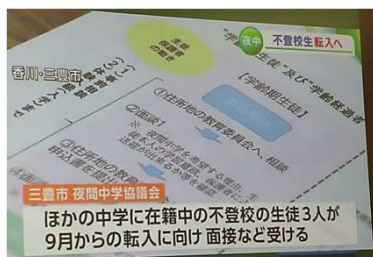
高瀬中学校に開設する「二部学級」として設置



会議風景



テレビ放送より



現在、3名の中学生が体験入級中。1か月間の体験入級、3回の面接を経て、正式入級へ。3名のうち、1名はもうすぐ正式入級の予定です。

③香川県三豊市立高瀬中学校夜間学級の取組

BE KOBE

授業風景(端末で、数学を学ぶ中学生)・教室の様子



授業の持ち物・予定表

2022年10月(木)の予定

持ってくる物	
1時間目	技術 教科書、筆記用具
2時間目	英語 教科書、筆記用具
休み時間	給食が出ます(お弁当)
3時間目	社会 歴史の教科書、筆記用具
4時間目	国語 昔年の教科書

* 必要であれば飲みもの(お茶または水)を用意してください。
* 朝から雨が降っていました。太郎の散歩は雨の合間をぬって9時ごろ行きました。天気予報によると、この雨を境に、大きく気温が下がるそうです。ちなみに、明日朝の三豊市の最低気温は16℃だそうです。最高気温も25℃までとなる日が続くようで、秋が一気に深まりそう。今日から新しい「なごま」を迎え、ますます楽しくなりそうです。みんなで力を合わせて、充実した学校生活を送りましょう。(お)



学年生徒は17校時が1校時です。

次回の検討事項

▶ 保護者サポート及び民間施設等との連携推進

- ① 不登校児童生徒の保護者向け支援の充実
- ② 教育相談窓口を通じた支援
- ③ フリースクール等の民間団体との連携